



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナック
コード番号 9788 URL <http://www.nacoo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺岡 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室 室長

(氏名) 田中 秀憲

TEL 03-3346-2111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	61,842	△2.4	372	△87.6	362	△88.0	△68	—
26年3月期第3四半期	63,388	25.0	3,004	29.5	3,018	29.9	1,633	61.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △33百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 1,574百万円 (55.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第3四半期	△4.11	—	—	—
26年3月期第3四半期	98.41	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円	百万円	円	%	円
27年3月期第3四半期	42,922	—	15,445	—	36.0	922.62
26年3月期	40,455	—	16,005	—	39.6	961.07

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 15,445百万円 26年3月期 16,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
26年3月期	—	17.00	—	19.00	36.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	18.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	86,000	△6.1	1,900	△59.3	1,900	△59.7	650	△76.7	38.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	18,719,250 株	26年3月期	18,719,250 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,978,596 株	26年3月期	2,065,464 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	16,699,431 株	26年3月期3Q	16,596,912 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組換え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)におけるわが国経済は、消費増税後の落ち込みから持ち直しつつある一方、個人消費は物価上昇による実質所得低下の影響により弱めの動きが続いております。

住宅業界では、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響が和らぎ持ち直しつつあるものの依然として資材価格や人件費の高騰による影響が続いております。

また小売・サービス業界では、消費増税や物価上昇による実質所得の低下により消費者の節約志向が継続しております。

このような状況の下、当社グループでも消費の先行き不安による影響が大きく、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高61,842百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益372百万円(同87.6%減)、経常利益362百万円(同88.0%減)、四半期純損失68百万円(前年同期四半期純利益1,633百万円)となりました。

セグメント別業績はつぎの通りです。

各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用等894百万円があります。

〈クリクラ事業〉

当第3四半期連結累計期間の宅配水市場規模は前年同期比で引き続き拡大しましたが、大手飲料水メーカーを含めた新規参入企業が増加し競争は激化しております。また、最大の需要期である夏季が前年の記録的猛暑から一転して天候不順に見舞われたためボトル消費量が伸びず、厳しい状況となりました。

このような状況の下、直営部門ではサービス向上を目的とした従業員教育を充実させ、競争力強化と既存顧客の解約防止に努めるとともに、新規顧客獲得を目的とした販売促進活動を積極的に行った結果、売上高は前年同期比で増加となりました。

加盟店部門では、ボトル売上は前年同期比で増加した一方、顧客数の伸びが鈍化したことでウォーターサーバーの売上が落ち込みました。

損益面では、加盟店部門の売上高減少に加え、直営部門の新規出店に係る費用および人件費増加から営業利益は前年同期比で減少となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高9,885百万円(前年同期比3.3%減)、営業利益46百万円(同76.1%減)となりました。

〈レンタル事業〉

ダストコントロール市場においては、顧客ニーズの多様化により市販の代替商品を選択する顧客が増えていること、またオートロック付マンションの普及により顧客との接点が減少傾向にあり競合他社との競争も継続していることから、市場環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、主力のダストコントロール部門では既存顧客への解約防止対策を中心とした営業方針の転換により顧客件数は堅調に推移しましたが、消費増税後の消費者の節約志向が響き前年同期比で売上高が微減となりました。

害虫駆除部門および法人向け定期清掃サービスでは、積極的な直営店の新規出店と注力してきたWEB受注の定着により前年同期比で売上高が増加しました。

損益面では販売促進費と人件費増加のため営業利益が前年同期比で減少となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高9,416百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は1,156百万円(同14.6%減)となりました。

なお当四半期に、ダストコントロール部門と害虫駆除部門で福岡県遠賀郡に直営店をそれぞれ開設しております。

〈建築コンサルティング事業〉

ノウハウ販売では、主要顧客である中小工務店が消費増税に伴う駆け込み需要の反動の影響により受注状況の改善が見られずノウハウ商品への投資に消極的であり、また、新規会員の獲得も低調であったため、売上高は前年同期比で減少しました。

一方、太陽光発電システムを中心とした建築部材販売では、低圧産業用太陽光が好調な市況となっていたことから、市況に合わせて注力した商品提案が奏功し、売上高は前年同期比で増加しました。

損益面では建築部材販売で売上高増加および営業効率の向上により利益が増加したものの、ノウハウ販売の売上減少による減益が影響したため、営業利益は前年同期比で減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高4,279百万円(前年同期比13.1%増)、営業利益499百万円(同24.3%減)となりました。

〈住宅事業〉

当第3四半期連結累計期間の住宅業界においては、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響が緩やかに回復しつつある一方、資材価格や人件費の高騰は続いております。

このような状況の下、株式会社レオハウスでは消費増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響により前年同期比で売上高が減少しました。

損益面では、売上高の減少および資材価格と人件費の上昇により、営業利益は前年同期比で減少しました。

受注につきましては、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減および住宅ローン金利の低位安定予測や消費税増税延期決定を背景に、ターゲットとしている顧客層が想定以上に住宅購入を控えたため、当第3四半期累計期間での受注数、受注残ともに前年同期比で減少し、受注数1,470棟（前年同期2,278棟）、受注残1,129棟（前年同期1,636棟）となっております。

株式会社ジェイウッドについては、売上高、営業利益ともに前年同期比で増加し、受注残は87棟となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高30,828百万円（前年同期比12.7%減）、営業損失339百万円（前年同期営業利益1,534百万円）となりました。

なお当四半期に、株式会社ジェイウッドでは、八戸に新型モデルハウスを開設しております。

〈通販事業〉

株式会社JIMOSは、前連結会計年度第2四半期に子会社となったことから、売上計上期間が6か月間から9か月間となっております。個人向け化粧品販売では積極的に広告費を投入したこと、および消費増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響が収束したことにより、売上高は前年同期比で増加しております。法人向けの化粧品卸事業および通販支援事業では、競争激化により売上高が前年同期比で減少しております。

損益面では、個人向け化粧品販売での積極的な広告費の投入と法人向けの化粧品卸事業および通販支援事業の売上高減少により前年同期比で営業利益は減少となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高7,474百万円（前年同期比55.8%増）、営業損失96百万円（前年同期営業利益152百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,467百万円増加し、42,922百万円となりました。これは納税・配当金・買掛金等の支払により現金及び預金が減少した一方で、未成工事支出金等が増加したことや、クリクラ事業で建設中のプラントに関する建設仮勘定が増加したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3,027百万円増加し、27,476百万円となりました。これは工事代金の支払による買掛金の減少や納税による未払法人税等の減少があったものの、プラント建設資金の借入金や未成工事受入金が増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ560百万円減少し、15,445百万円となりました。これは主に配当金の支払等により利益剰余金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成26年11月7日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成27年2月9日）公表いたしました「平成27年3月期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

なお、当第1四半期連結会計期間の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては従来採用していた方法を継続して採用するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,385	5,127
受取手形及び売掛金	3,818	3,525
商品及び製品	2,423	2,199
未成工事支出金	2,406	3,436
原材料及び貯蔵品	237	287
その他	3,459	4,828
貸倒引当金	△67	△52
流動資産合計	18,662	19,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,094	5,122
土地	2,041	2,078
その他(純額)	2,013	2,030
建設仮勘定	3,530	5,586
有形固定資産合計	12,680	14,818
無形固定資産		
のれん	2,318	1,976
その他	2,729	2,502
無形固定資産合計	5,048	4,478
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,493	2,519
その他	1,740	1,989
貸倒引当金	△170	△234
投資その他の資産合計	4,063	4,274
固定資産合計	21,792	23,571
資産合計	40,455	42,922

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,741	4,202
短期借入金	1,161	3,410
未払法人税等	1,383	122
未成工事受入金	5,410	6,758
賞与引当金	939	485
引当金	479	476
その他	4,210	4,436
流動負債合計	19,325	19,892
固定負債		
長期借入金	3,093	5,479
退職給付に係る負債	97	113
資産除去債務	748	844
その他	1,184	1,147
固定負債合計	5,124	7,584
負債合計	24,449	27,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000	4,000
資本剰余金	1,003	1,072
利益剰余金	13,226	12,506
自己株式	△1,380	△1,325
株主資本合計	16,849	16,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	53
土地再評価差額金	△862	△862
その他の包括利益累計額合計	△844	△808
純資産合計	16,005	15,445
負債純資産合計	40,455	42,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	63,388	61,842
売上原価	38,273	36,664
売上総利益	25,115	25,177
販売費及び一般管理費	22,111	24,804
営業利益	3,004	372
営業外収益		
受取利息	12	7
受取配当金	9	6
受取地代家賃	4	3
受取手数料	14	18
その他	49	70
営業外収益合計	90	106
営業外費用		
支払利息	37	44
支払補償費	—	33
為替差損	20	9
その他	18	30
営業外費用合計	76	117
経常利益	3,018	362
特別利益		
投資有価証券売却益	101	—
特別利益合計	101	—
特別損失		
固定資産処分損	30	1
減損損失	5	30
その他	1	1
特別損失合計	37	32
税金等調整前四半期純利益	3,081	330
法人税、住民税及び事業税	1,282	360
法人税等調整額	165	38
法人税等合計	1,448	398
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,633	△68
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,633	△68

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,633	△68
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	35
繰延ヘッジ損益	△3	—
その他の包括利益合計	△59	35
四半期包括利益	1,574	△33
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,574	△33
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

① 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

i. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	クリクラ 事業	レンタル 事業	建築コンサ ルティング 事業	住宅 事業	通販 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,217	9,272	3,782	35,318	4,798	63,388	—	63,388
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1	—	—	—	2	△2	—
計	10,217	9,273	3,782	35,318	4,798	63,390	△2	63,388
セグメント利益又は損失(△)	195	1,353	660	1,534	152	3,896	△892	3,004

(注) 1. 第2四半期連結会計期間に、株式会社JIMOS社を子会社化したことにより、新たに通販事業を報告セグメントに追加しております。

2. セグメント利益の調整額△892百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額69百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△961百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ii. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年7月12日付で株式会社JIMOSの発行済株式総数の100%の株式を取得し同社を連結子会社といたしました。

これにより、新たに通販事業を報告セグメントに追加しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、2,087百万円であります。

② 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

i. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	クラクラ 事業	レンタル 事業	建築コンサ ルティング 事業	住宅 事業	通販 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,881	9,415	4,279	30,828	7,437	61,842	—	61,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	1	0	—	36	41	△41	—
計	9,885	9,416	4,279	30,828	7,474	61,883	△41	61,842
セグメント利益又は損失 (△)	46	1,156	499	△339	△96	1,267	△894	372

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△894百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額80百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△974百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ii. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注の状況

セグメントの名称	受注高(百万円)		受注残高(百万円)	
	前第3四半期 平成25年4月1日～ 平成25年12月31日	当第3四半期 平成26年4月1日～ 平成26年12月31日	前第3四半期 平成25年12月31日現在	当第3四半期 平成26年12月31日現在
住宅事業	41,805	29,139	30,823	22,664